

社会資本整備総合交付金 フォローアップ報告書
五木東部地区

令和3年3月

熊本県五木村

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	居住満足度	%	55.8	70.0	70.0	確定 ●	○	あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	交付金による公園整備や交流拠点の整備、道路のアクセス機能の強化等が居住環境の充実に繋がったと考えられるため。
指標2	観光入込客数	千人/年	150	200	162	確定 ●	△	あり	124	R2年12月	×	R2.7月豪雨及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きかったため。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	村内関係事業者一体となり、新型コロナウイルス感染症防止策を行い、村内外に安全性をPRしながら、年間を通じた魅力を発信するイベント等を開催し、集客を図っていききたい。
指標3	道路防災整備率	%	4.0	5.0	6.0	確定 ●	○	あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	5路線の集落等アクセス道路の改築工事を実施し、安心安全な通行の確保を図ったことで、生活環境の改善に繋がったと考えられる。
指標4						確定 ●		あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 ●		あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	体験型観光参加者数	人/年	10,206	/	11,475 (R1)	確定 ●	/	/	914	R2年12月	/	R2.7月豪雨及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きかったため。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、山・川の魅力を活かしたアウトドアの取組みを発信していく。
その他の数値指標2				/	/	確定 ●	/	/			/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3				/	/	見込み	/	/			/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	・集落アクセス道路の点検・維持管理の継続	・継続的なパトロールによる点検、維持管理を年間を通して実施している。	・点検等により維持修繕等を適宜実施している。	・取り組みについては継続的に実施し、各地区の区長と更に連携強化を図っていく。
	・ソフト面での防災対策の強化	・整備したヘリポートを活用した防災訓練を実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。	・新型コロナウイルス感染拡大により中止となったため、R3.10月に実施予定である。	・新型コロナウイルス感染拡大防止を図りつつ、定期的な防災訓練の実施を行う。また、R2.7月豪雨の検証を踏まえた訓練を行うことで、防災意識の醸成を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	・観光客を呼び込むための施策の検討	・新型コロナウイルス感染症拡大により大小のイベントを中止したが、観光目的で利用される方に対し、お土産セットや温泉入浴券をセットにした村独自の宿泊助成を行った。また、九州各県のタウン情報誌、WEB及び公共交通機関などを通じて積極的に情報発信を実施した。	・事業途中、都市部での新型コロナウイルス緊急事態宣言があったものの、問い合わせも多く、好評であった。	新型コロナウイルス感染防止対策を行い、村内外に安全性をPRしながら、年間を通じた魅力を発信するイベント等を開催し、集客を図っていく。
	・五木村のブランド“五木づくし”を通じた生産者と消費者双方のコミュニケーションの強化、それによるさらなる販路拡大	・都市部での催事による販売活動が中止となった中、農林産物生産者を中心に、新たな特産品とした「くねぶ」を含め、五木産特産品等を詰め込んだ「五木村からのおせつかい直送便」(6種類)を実施した。また商品箱には五木産材を使用する等、消費者を呼び込む工夫や販路拡大を行った。	・直送便はすべて完売し、生産者の意欲の向上が図られた。村独自の新たな特産品である「くねぶ」についても知名度向上が図られ好評を得た。	・引き続き村特産品の知名度向上を図り、村民の所得向上に結びつける。また、新型コロナウイルスを意識した通信販売事業にも力を注いでいく。
	・調査結果を活かし、町の骨格軸等の道路から見た景観形成策の検討	景観向上に資するために植樹した樹木の管理。	・植樹した桜については、施肥を行い、観光客をはじめ、住民の方にも好評で、景観の向上に寄与している。	・本村ならではの原風景のPR活動や、ボランティア団体等と連携した樹木の維持管理を行いながら、景観づくりを継続して実施していく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
徹底した新型コロナウイルス感染症対策による集客促進。	新型コロナウイルス感染症対策設備品購入などにより感染症対策を行っている村内事業者の安全PR映像を作成し、動画共有サービス等のメディアで配信を行う。併せて五木村の観光資源である豊かな自然、観光施設、特産品等のPR映像の作成も行う。	R3.4月～	新型コロナウイルス感染症の終息が不透明であり、配信のタイミングを見定める必要がある。